



にちなんエコツーリズム推進協議会の役割のひとつは、科学的知見に基づいた利害関係の調整とルール作りの場としての機能です。

もうひとつの役割は、生物保護により生じる経済的損害を補填し、更にはそれ以上の利益を生み出す「しくみ」を作ることです。

協議会では、「エコツーリズム」という枠組みを使つてこの問題を解決しようと考えています。「エコツーリズム」とは、「地域固有の自然・歴史・文化資源を保全しながら、環境学習を含む観光の対象として旅行者に提供し、それによつて地域振興が図られる形態の観光」のことです。前述したガラバゴスが採用した方法です。ガラバゴスでは、ソウガメなどの生物が捕れなくなった経済的損失を観光収入によつて補うことに成功しました。

本町においても、例えば、保護区域の農業や林業に規制をかけるようなルールとなる場合には、その損失を観光収入で補うことができる「しくみ」も同時に作る必要があります。

今、取り組んでいること 資源の基礎調査、ルール作り、体験プログラム作り

協議会では今年度から環境省の交付金を活用して、エコツーリズム全体構想の作成に取り組んでいます。この構想は、開発・利用のルールから資源保護の方法、観光プログラムの実施方法などを網羅したもので、国から認定されると法的な拘束力がある。

生じます。

全体構想を作るために、大きく4つの事業に取り組んでいます。まず、(1)町の希少動植物の基礎調査です。これは各種ルール作りや観光ガイドラインの基礎となるもので、適切な保護のために欠かせないものです。(2)エコツーリズムの対象は動植物から習俗・習慣・伝統文化に至るまで広範です。埋もれている町の宝の掘り起こし作業を行っています。(3)エコツアープログラムの開発と実施です。エコツーリズムによる環境保護は、質の高いエコツアーによる収益が欠かせないからです。(4)環境保護意識の啓発や担い手育成のための環境教育の実施です。

エコツーリズムの成否が「持続可能なまちづくり」の試金石となる

町では今、「持続可能なまちづくり」を標榜し、様々な施策を行っています。人と生物の共生を目指すエコツーリズムの取組を成功させるか否かは正に、本気で「持続可能性」に取り組んでいるかどうかのメルクマール(指標)になります。

町民の皆さん、ぜひにちなんエコツーリズム推進協議会の活動にご注目ください。そして、私たちの宝が次世代へ受け継がれるよう力を貸してください。日南町の新たな挑戦は始まったばかりです。

エコツーリズムに関する問い合わせは、役場企画課(82-1115)まで。

本号挟み込みの「町の宝アンケート」へ協力お願い致します。詳しくはp19。

